

2008年11月18日
トピー工業株式会社

震災対応型コミットメントライン（融資枠）を締結！

- 締結にあわせ、第三者機関を利用してBCPをより実効性の高いものに -

トピー工業（本社：東京都品川区、社長：清水良朗）は、このたび、鉄鋼、自動車・産業機械部品など、トピー工業が所属する業界で初めて「震災対応型コミットメントライン（融資枠）」を、みずほコーポレート銀行を主幹事とする5行と締結いたしました。

トピー工業は、最大の特色である「素材から製品までの一貫生産」を活かし、建設機械用の履板やホイール、大中型バス・トラック用のホイールなど高いシェアを持つ製品や、幅広く使用される鉄鋼製品など社会基盤を形成する上で重要な製品を世に送り出しています。また、独創性が高く、他に類を見ない自社製品の供給は、社会への貢献であるとともに、大きな責務であると捉えております。このたび締結した震災対応型コミットメントラインは、震災により万が一重大損害が生じた場合でも、運転資金を迅速に手当てし、事業の円滑な継続を可能とするものです。

コミットメントラインとは、企業と銀行が契約に基づき融資枠と期間をあらかじめ設定しておき、その限度枠内では企業が随時借入れを可能とする融資枠のことです。しかし、一般的なコミットメントラインでは、震災時における貸出義務が免責されているため、企業にとっては震災発生直後の運転資金の対応に困難が生じる可能性があります。今回、トピー工業が締結した震災対応型コミットメントラインは、通常のコミットメントラインに加え、震災発生時であっても、あらかじめ定められた条件によりスムーズな資金調達を可能とします。また、震災対応型コミットメントラインの締結にあわせ、第三者機関を利用して本社を含めた全事業所を対象に震災リスク調査を実施し、従来の事業継続計画（BCP）を抜本的に見直し、より実効性のあるものに改定しました。

昨今、企業における震災を原因としたリスクマネジメントの重要性は、増加しております。トピー工業は、事前の手当てにより将来の損失軽減を図るリスクコントロールに加え、リスクが顕在化した後に生じた損失をカバーするリスクファイナンスを取り入れることで、企業の社会的責任を果たしてまいります。

【震災対応型コミットメントラインの概要】

融資枠設定金額：100億円

契約期間：5年間

参加金融機関：主幹事 みずほコーポレート銀行

みずほコーポレート銀行、りそな銀行、みずほ信託銀行、
三菱東京UFJ銀行、横浜銀行

特 長：本社及び製造所所在地域において、一定規模以上の震災発生時においてもあらかじめ定められた条件で、借入が可能。

以上